園だより

輝く笑顔、未来につなぐ

社会福祉法人 宮前福祉会 石和東こども園 幼保連携型認定こども園

社会福祉法人宮前福祉会
幼保連携型認定こども園　石和東こども園
406-0026　笛吹市石和町中川330
Tel055-262-2061　Fax055-262-2069
https://isawaeast.com
info@isawaeast.com

一年で一番寒い時期を迎えるはずですが、ここ最近は比較的暖かい日が多く、朝から戸外で元気に遊ぶ子ども達の声が響いています。冬でなくては経験できないことを楽しむ姿が多く見られ、霜柱を踏みしめては「ザクッ、ザクッ」という感触を楽しんだり、容器に張られた氷を手にして「冷た～い」と歓声をあげて喜んでいる子ども達です。こういった自然事象も友達と一緒だからこそ、楽しさも倍増するのでしょう。友達関係の深まりも日に日に強くなってきています。時に、悪ふざけに感化されてしまい収集がつかなくなってしまうこともあります。「やって良いこと」「悪いこと」のけじめがついた行動がとれるようにその都度、対応させていただいています。

そして…。保護者の皆様方も楽しみにしていらっしゃる生活発表会まで後１０日となってきました。「見られる」経験が大切といったところから、最近では「発表会ごっこ」が盛んです。回を重ねる毎に「見られる嬉しさ」を感じつつ、張り切って演じる姿が見られるようになっています。今年度の発表会も、日常保育の中で行ってきたダンスやリズム遊びをステージ用にアレンジして仕上げてきました。年齢の大きいクラスでは、みんなで話し合って決めていったそうです。「やる気スイッチ」を大切にして、自ら「やりたい」と思って取り組めるように配慮してきました。発表会を通して得られる自信、自己肯定感が引き出されることを願っています。どうか、昨年度より今年度の成長したところを認めてあげてください。（舞台に立つことができた・衣装を着ることができた・踊ることができた・笑顔でできた・堂々とできた等個々によって異なるはずです。）子ども達の充実感と満足感、保護者さんの感動と喜びにあふれた発表会となることを願っています。

能登半島震災義援金のご協力をありがとうございました!! １月末現時点で１９，１２６円の善意が寄せられました。
全国認定こども園協会に送金させていただきます。別団体からの依頼も届いています。引き続き、ご協力をお願いします。

保健だより

園内感染症の現状報告です！

１月からの園内感染症状況として、インフルエンザは少人数ではありますがまだ報告があります。
また高熱が何日も続く場合や、熱はすぐ下がっても再度上がってくるなど不安定なお子さんもいます。診断では溶連菌感染症の疑い、ヘルパンギーナの疑い等が入っており、様々な感染症が出ていると推測されます。「学校欠席者・感染症情報システム」によりますと、１月中旬頃からインフルエンザを上回る新型コロナの感染が報告され始めており油断ならないところです。
感染症後の登園には提出していただく書類等があるため、わからないことがありましたらお問い合わせください。

２月予定

１日：ダンス教室(3・4・5 歳児)
２日：まめまき
６日：リズム教室(2・3・4・5 歳児)
８日：生活発表会(0・1 歳児)
９日：生活発表会(2・3・4・5 歳児)
14 日：アート教室(5 歳児)
15 日：アート教室(5 歳児)
16 日：ダンス教室(3・4 歳児)
19 日：起震車体験
20 日：誕生会（全園児）
21 日：陶芸教室(5 歳児)
22 日：ブレイクダンス(4・5 歳児)
27 日：リズム教室(3・4・5 歳児)
28 日：全国訪問おはなし隊
(2・3・4・5 歳児)

日程変更
３月 15 日(金)に予定している遠足ですが、みのり組のみ３月 14 日（木）に変更になります。よつば組以下のクラスは変更ありません。

お知らせ・お願い

■個人教材の注文
新年度の個人教材の注文を取ります。次年度のクラス欄を確認していただき「個人教材一覧表」を２月５日（月）までに提出をお願いします。体育着は、新年度５月に注文用紙を配布します。

■起震車体験
地震の揺れを実際に体験する機会を持ち子ども達と改めて地震の時にどう行動したらよいか考える機会としていきます。

■３月、年度末、年度初めの予定
【卒園式】３月 23 日（土）
※詳細については後日、通知します。
【修了式】３月 29 日(金)
【令和６年度入園式】　４月６日（土）
対象：令和５年度途中入園家庭・令和６年度新入園家庭　※対象のご家庭には、３月に『入園式のご案内』を配布します。

■保育実習生
山梨学院短期大学 1 年生の学生さんが 2 月 14 日から保育実習に入ります。送迎の際に子どもたちと遊ぶ姿を目にしたり、子ども達から話が出るかと思いますが、温かい目で見守って頂きたいと思います。

Happy Birthday

〇たね〇 １歳
・小宮山真弘くん

〇めばえ〇 ２歳
・田中　優臣くん

〇みつば〇 ４歳
・道園　晴くん
・加藤　楼彩さん

〇よつば〇 ５歳
・土居陽良莉さん
・小川　律くん
・上野　岳斗くん
・青柳　宗志くん
・藤巻　健大くん

〇みのり〇 ６歳
・有井　瑛侍くん
・荻原　杏奈さん
・川上　紗來さん

社会福祉法人 宮前福祉会

石和東こども園 Q&A

幼保連携型認定こども園

※今回は、別の園に通う保護者の方から「これってどうなの？」と聞かれたお話しから、本園の場合について改めて考えみたことをお伝えします。

「ウチの園は、子ども主体の保育だから！と言って、何でも子どもに任せているみたいなの。だから、好きなことばかりしているような気がするけど、本当にそれでいいの？

時代と共に保育内容が見直され、一昔前の一斉保育（保育者主導型でみんなが一斉に同じことをする保育）から 180 度転換した「子ども主体の保育」に移り変わってきています。本園でも、「子ども自身が考えて行動できるような保育」を試行錯誤しながら進めてきています。

では何故、保育を変えていく必要性があったのでしょうか。それは、「子ども主体」であることが社会に出た時に必要な能力であることが考え直されてきたからです。「子ども主体の保育とは、子ども自身が目的を果たすために何をすべきか考え、自分の意思で行動を決定する力を育む保育」と言われています。保育者は子どもの意思を尊重しつつ、必要な環境を整え、サポートしていきます。

では、具体的にどのような保育が展開されているのか、第一弾として、最近の保育の中での事例をあげて説明させていただきます。

事例１「サッカーボールが流されてなくなっちゃった！！」

朝、隣の校庭でサッカーをしていたみのりぐみさん。転がっていったボールがフェンスの間から校庭裏の川へ流れていってしまいました。急いで追いかけましたが川の流れが速くてあっという間に手が届かない場所に・・・。川に沿って探してみましたが見つかりませんでした。さて、このボールをどうしたらいいのか、子どもたちから出た意見は次のとおりでした。「海まで流れていったと思うから海まで探しに行く」「園長先生に言ってまた買ってもらおう」「お年玉があるからそれで買ったらいい」・・・子どもたちなりにどうしたらいいのか考えました。

無くなっちゃったから仕方ない・・・とあきらめるのではなく、自分たちでどうしたら良いのか考える良い機会です。現実的に購入できる方法を自分達で考えました。結果・・・

「ポップコーンを作って先生たちに買ってもらおう！！」

園の畑で作った種でポップコーン作りが始まりました。お店屋さんごっこはしたことありますが、今回のように本物のお金をもらうことは初めてです。みんな大興奮です。
自分達で作った物を売ってお金にする・・・労働でお金を得た初めての経験となりました。
お金を数えられるお友達が金庫番となって集計したところ、２，７００円の収益となりました。

さて、今度はボールをどこに買いに行ったらいいのか・・・。子ども達が歩いて行かれる近隣にはボールを売っているようなお店はありません。

そこで、ここはちょっと職員が裏工作。知り合いの近隣の書店にお願いして先に購入したボールを置かせていただくこととしました。書店にボールですが、そこは少しオマケしていただくこととして・・・

各自、売り上げの 100 円玉を握りしめて意気揚々と出発！！
「あっ、ここ知ってる！」とは言うものの、展示されているボールに疑う子は誰もいません。用意しておいたボールは３個。１個２，７００円のボールと２個で２，７００円になるボール。店先で相談して検討した結果、２個購入することになりました。
足取りも軽く園に戻り、誇らしげに報告してくれました。

無くなってしまったボールをどうしたら良いのか、みんなで話し合って、目的に向かって考え、動いて、達成した今回の流れは、園生活の中でこそ体験できるものではないかと思います。ご協力いただいた書店様には感謝申し上げます。